

小松英典リサイタル

世界遺産 法相宗 大本山 薬師寺・食堂にて公演

じきどう



2017.11.19 (日) 開場 17:20
開演 17:40

法相宗大本山 薬師寺(食堂)

出演: 小松 英典(バリトン) 塚田 佳男(ピアノ)

入場料: 3,000円 チケット購入はドイツ歌曲普及協会まで

曲目

荒城の月 / 詩 土井晩翠・曲 瀧廉太郎
鐘が鳴ります / 詩 北原白秋・曲 山田耕筰
みほとけは / 詩 仲野良一・曲 信時潔
平城山(みらやま) / 詩 深尾須磨子・曲 平井康三郎
初恋 / 詩 石川啄木・曲 越谷達之助
さくら貝の歌 / 詩 土屋花情・曲 八洲秀章
あざみの歌 / 詩 横井弘・曲 八洲秀章 他

バリトン／小松英典



【主催】一般財団法人ドイツ歌曲普及協会

【特別協力】法相宗大本山 薬師寺 【協力】株式会社富士薬品 UHA味覚糖株式会社

【チケット購入・お問い合わせ】一般財団法人ドイツ歌曲普及協会 (email: info@djkg.org)

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2丁目2-3 アライヴ人形町 TEL: 03-3249-6788

【オフィシャルウェブサイト】<http://djkg.org/>

※曲目は予告なしに変更になることがあります。予めご了承ください。※未就学児のお子様の入場はお断りしております。



ピアノ／塚田佳男

Photo by Kosho ENDO



ほっそうしゅうだいほんざん やくしじ
法相宗大本山 薬師寺

食堂(じきどう)について

食堂は僧侶が斎食をするための建物で、僧侶約300人が一堂に会する規模であったと発掘調査により判明しています。『薬師寺縁起』によると食堂の規模は東大寺、大安寺に次ぐ大きさとされており、その記録がほぼ裏付けられています。

創建当初の建物は天平2年(730)頃に建てられたとみられ、天禄4年(973)に焼失しました。その後、寛弘2年(1005)に再建されましたが、再び失われました。(年代不明)

新たに復興した食堂は、建物外観は奈良時代の意匠を凝らした作りとし、内部は現代技術を活用することで広い空間を確保し、食堂を多目的に利用することを想定しています。

室内には田渕俊夫画伯により描かれた食堂ご本尊「阿弥陀三尊浄土図」を中心に、全長約50メートルにわたる壁画「仏教伝来の道と薬師寺」が奉納されます。(公式サイトより一部抜粋)

所在地・交通アクセス

〒630-8563 奈良県奈良市西ノ京町457

TEL 0742-33-6001

近鉄奈良駅より六条山行バス18分「薬師寺」下車より徒歩3分

JR京都駅より近鉄橿原線(橿原神宮前行き)特急で35分 西ノ京駅下車すぐ



小松 英典 (バリトン)

Hidenori Komatsu, Baritone

1975年ハンブルクで宫廷歌手アーノルド・ヴァン・ミルに師事。1976年リューベック国立音楽大学に入學し、宫廷歌手ディット・ラング、ルネ・コロラに師事。1980年リューベック国立音楽大学リート・オラトリオ・オペラ科を卒業。1982年よりハンブルクを中心にドイツ各地で、ブラームス「美しきマゲローネのロマンス」、シューベルト「冬の旅」リサイタルを行う。1983年ベルリンでフィッシャー・ディースカウと共に演。また、アーリン・オジエ、エリー・アーリンク、ハンナ・シュヴァルツ、クルト・モルなど著名な歌手と共に演し、ザルツブルグ音楽祭などのヨーロッパの主要なフェスティバルにも参加。小澤征爾の指揮によるR、シュトラウス「サロメ」、ブッchner「マノン・レスコー」、バッハ「マタイ受難曲」は絶賛された。また1992年「小松英典マーラーを歌う」、1994年エディット・マティスとのデュオ・リサイタル「シューマンのタベ」、イエルク・デームスとの「冬の旅」(2000年)、ブラームス「4つの嚴肅な歌」(2002年)等のリサイタルは、ドイツ音楽の精髄ともいいうべき演奏が大きなセンセーションを巻き起こした。レコーディングでの活動も目覚しく、ブッchner歌劇「蝶々夫人」(シノーポリ指揮)、「珠玉の日本歌曲」、「ドイツ歌曲選集」(アンサンブル編/モル、ファスベンダー)などを録音しており、ファスベンダーとの録音はドイツ、フランスでレコード優秀賞を獲得した。これまでに20枚余りのCDを残している。最新CD「日本の歌を集めて1&2&3」をリリースし、各方面から絶賛の声が挙がっている。ドイツ・ブレーメン国立音楽大学声楽科教授。ドイツ連邦共和国より終身プロフェッサー(Honorarprofessor)の称号を受称。秋田県大仙市民賞受賞。日本ドイツ歌曲コンクール(前 友愛ドイツ歌曲コンクール)審査員。座間日本歌曲コンクール審査員。



塚田 佳男 (ピアノ)

Yoshio Tsukada, Pianist

群馬県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。二期会等でオペラや各種コンサートの伴奏・コレベティトワーアを務めた後、75年から77年までドイツ・デトモルトにてピアノ・オルガン・伴奏法を学ぶ。帰国後から現在に至るまで歌を知りぬいた繊細な音楽性で、特に日本歌曲の研究、解釈、伴奏においては現在日本の第一人者としての活動を続けている。畠中良輔氏と共に企画・構成に携わり、その伴奏の殆どを受け持ってきた、93年より続く音楽の友ホールでの《日本歌曲シリーズ》を代表に、日本歌曲や日本の歌による演奏会での企画構成と演奏は、国内はもとより海外においても高い評価を得ている。様々な歌手の伴奏を務めたCDは多数リリースされている。また、セミナー等での講師としての活動も、日本歌曲の歌唱法および伴奏法の指揮を中心として全国各地で行っており、多くの歌い手とピアニスト達を育成している。96年上毛芸術奨励賞、及び99年に設立の歌曲伴走者に対する賞『水谷達夫賞』の第一回受賞者。日本演奏連盟所属。